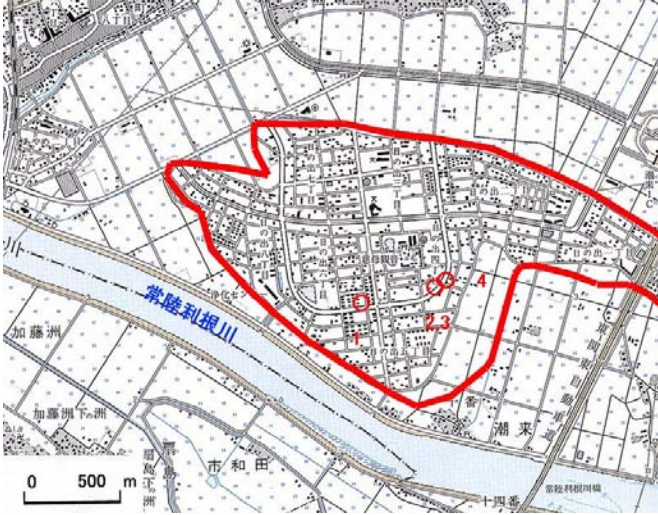


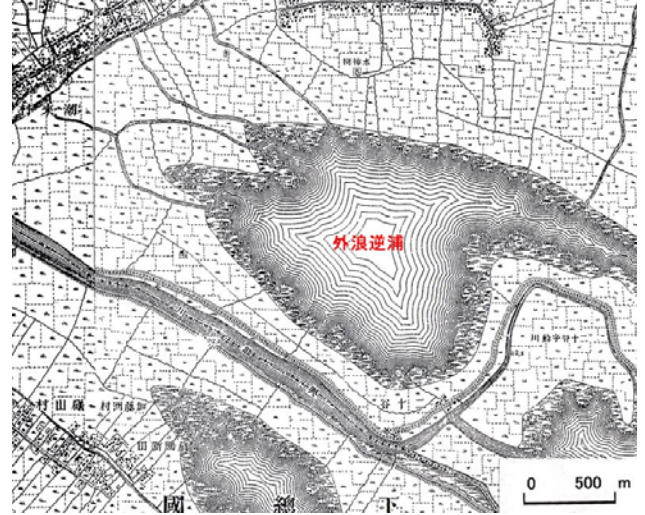
東日本大震災による潮来市・香取市の液状化被害

茨城県潮来市日の出地区住宅地（2011年4月8日 橋詰直道撮影）

水郷観光地茨城県潮来市でも液状化による被害が出た。特に、市街地南東部の水田地帯の日の出地区の被害は甚大で、県内で最後まで停電していた住宅地である。同地区は、かつて外浪逆浦と呼ばれる常陸利根川に繋がる霞ヶ浦の一部で、戦時中に埋立てられ水田に、その後鹿島臨海工業地帯開発に伴い住宅地として再び埋立て造成された土地であったことが液状化被害を大きくした。地震により住宅地内から地下水と土砂が噴出し、本来の土地の姿に「先祖返り」したと見ることもできる（地形図参照）。



潮来日の出の1/2.5万地形図「潮来」（平成14年部分修正測量）国土地理院発行 赤線は旧外浪逆浦跡



125年前の同地域、1/2万迅速測図「鹿嶋」（明治18年測量）参謀本部陸軍部測量局発行



1 日の出住宅地内の道路脇歩道の被害（黄色は野帳）



2 日の出住宅地内の歩道の亀裂と液状化被害



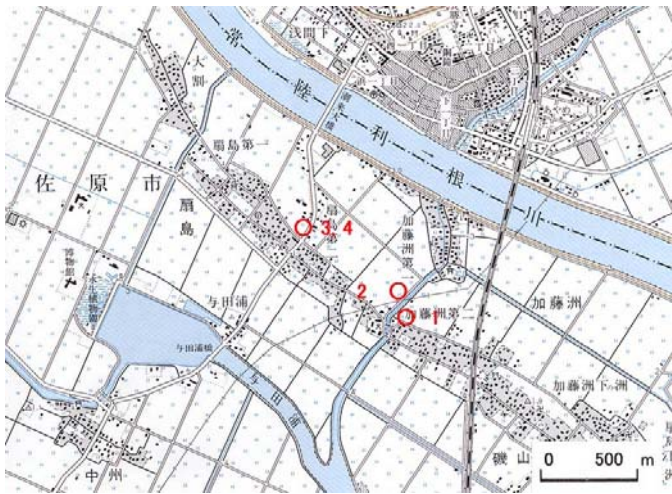
3 日の出住宅地の住宅地盤及び道路地盤の沈下



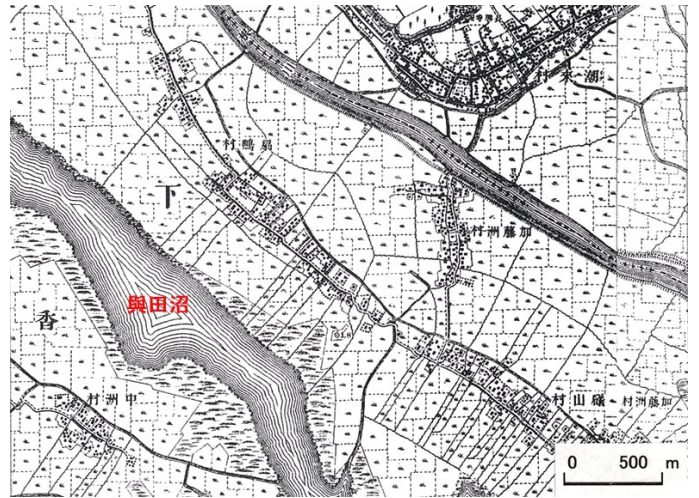
4 潮来市日の出住宅地の道路脇側溝上の歩道被害

千葉県香取市(旧佐原市)新島地区の水田内の噴砂現象 (2011年4月8, 3日 橋詰直道撮影)

常陸利根川と利根川を挟まれた千葉県香取市の米作地帯新島地区では、水田内に液状化による噴砂現象が起り、農業用水パイプラインも破損した。この水田地帯には新島をはじめ扇島、長島、加藤洲など島や洲のつく地名が多いことからもかつて旧與田沼(現与田浦)が広がっていたことがわかる(地形図参照)。噴砂現象の見られる水田は必ずしもかつての沼の場所とは一致しない。むしろ自然堤防上に発達した集落の縁辺部の水田に多いようにも見えるが、その分布には規則性は確認できなかった。



潮来日の出の1/2.5万地形図「潮来」(平成14年部分修正測量) 国土地理院発行 ○は写真撮影地点



125年前の同地域, 1/2万迅速測図「潮来村」(明治18年測量) 参謀本部陸軍部測量局発行



1 香取市佐原加藤洲付近の水田内の噴砂
水田内に列状の噴砂現象が見られる。(黄色は野帳)



2 香取市佐原加藤洲付近の水田内の噴砂 2011.4.8
大規模水田でも島状かつ列状に噴砂が見られる。



3 香取市佐原扇島付近の水田内の噴砂



4 香取市佐原扇島付近の水田内の噴砂 2011.4.3